

# 保 健 体 育

## 第1節 概 要

教育委員会は昭和52年度保健体育関係重点施策として「社会体育の振興」[全国高等学校総合体育大会開催準備の推進]を設定した。これらを中心に体育・保健安全・給食の各分野において相互連携を密にしながら各施策の推進を図った。その概要は、次のとおりである。

### 1 学校体育の充実

体育担当者の指導力を高め、児童・生徒の体力向上をめざして、各種体育実技講習会を開催するとともに、体力づくり推進校の実践研究、学校訪問による指導、さらには、学校体育指導の手引き(小学校編)の作成等学校体育指導資料の提供と、指導者の資質向上に努めた。また、体育担当以外の教員を対象に、体育クラブ指導者講習会を開催し、指導力の向上に努めるなど学校体育の充実を図った。

昭和53年度全国高等学校総合体育大会については、県実行委員会を設立、また、各会場地実行委員会を設立し、それぞれの事務局が中心となって大会準備に万全を期している。

### 2 学校保健の振興

学校保健教育、管理の充実を図るために、保健関係教員を対象として、保健主事講習会(県内3地区)、保健・安全指導者資質向上講習会(県内3地区)、養護教諭講習会(県教育センター)を開催し、資質の向上に努めた。

また、教職員、児童・生徒の健康管理に努めるとともに、学校保健委員会の設置促進と活動の活性化を図った。

なお、第1回学校保健体育研究大会(須賀川市)において当面する学校保健教育、管理の諸問題について研究協議し、多大の成果をあげた。

### 3 学校安全の徹底

安全教育、管理の強化を図るために、交通安全指導者講習会(県内3地区)、高校生バイク実技講習会(58校、6,187名の生徒)を開催し、安全教育、管理の徹底に努めるとともに新規事業として、高校生の二輪車運転免許証を多く持っている学校及び交通事故が発生しやすい環境に位置する学校等について、27校を訪問し、高校生の二輪車事故防止に努めた。

また、交通安全指導教員(県費補助1組 220,000円の半)の整備に努め、事故防止の強化を図った。

### 4 学校給食の改善充実

本年度の完全給食の実施状況は、前年と比較すると大きな変化はみられなかった。完全給食の実施状況を全国平均と比較すると、中学校においては学校数でみると全国62.4%、本県71%で8.6%上回り、生徒数でみると全国55.4%、本県68.7%で13.3%上回っている。小学校の実施率と比較すると若干下

回っているため、市町村、学校及びPTA等と連携を密にして、地域の特性に応じた完全給食の実施を推進し、学校教育の一環として、給食が行われるよう努力する必要がある。

給食費は、一食当たり県平均小学校 157円76銭、中学校186円83銭で前年度と比較すると約11%の増額となっている。

本年度の特記事項は、米飯給食導入校の増加である。51年に米飯給食の採用措置が構じられ、52年5月1日現在で完全給食校に対する米飯導入校の比率をみると、小学校40.2%で前年より16.2%増加し、中学校49.2%で前年より26.2%増となった。米飯は食事内容が多様化され、児童生徒から大変好評であるとの意見が多く出ている。今後とも米飯給食は逐次増加するものと考えられる。

また給食物資は年間を通し、安全にして良質なものを安定した価格で購入し、父兄負担の軽減を図り、給食運営をより円滑にする必要がある。これがため52年度には(財)福島県学校給食会に対し、常温倉庫建設費として国及び県の補助により、福島市松川地内に693.8㎡の倉庫が建設され、今後の学校給食物資運営について大きな希望と期待がよせられている。

## 5 第1回福島県学校保健体育研究大会

児童・生徒の健康の増進、体力の向上をめざすとともに学習指導の改善を図るため、学校体育、保健・安全及び給食の調和のとれた指導等について総合的に研究を進めるため、約800名の参加を得て、須賀川市立須賀川第二小学校を会場に開催した。特別講演、シンポジウム、全体会、分科会(12)の内容をもって2日間にわたる日程で行われ、本研究大会のめざす初期の目的が達成された。

## 6 社会体育の振興

近年、県民の健康に対する関心が深まり、体育・スポーツへの欲求は高く、多様化傾向を示しているが(財)福島県体育協会ははじめ市町村体育協会等関係団体の組織的活動によりスポーツが日常生活の中に定着しつつある。(財)福島県体育協会加盟種目競技団体登録者は97,491名、スポーツ少年団登録者17,205名、市町村におけるスポーツ人口は県人口のおよそ10%余で本県社会体育の発展充実を表すものである。

このような県民スポーツ欲求の高まりと多様化に対応するため、スポーツ指導員の養成等、各種研修・講習会の開催、各種競技会の開催、さらに東北・全国大会への選手派遣を行った。

指導者養成と資質の向上については、有資格スポーツ指導員養成講習会、野外活動指導者講習会、学校体育施設開放事業運営指導者講習会等を実施し、初期の目的を達成することができた。

県民スポーツの祭典である、第30回県民総合体育大会は、従来の大会内容を大きく改善し、県民総参加をめざし、国民体育大会県予選会、スポーツ少年団体育大会、県民スポーツ大